



～あおもり社会福祉士会だより～ 第65号

会の花：「カキツバタ」 花言葉：「幸せは必ず来る」



この夏 いよいよ 全国大会 です



青森県社会福祉士会 会長 納谷 むつみ（下北支部）

会員の皆様!! ついに全国大会開催の年となりました。身震いが止まりません!!

令和5年6/26から重ねた会議も今年3/25で18回となりました。常務理事を中心とした実行委員に加え、会員ボランティア、学生ボランティアにも多数のご協力の申し出を頂き、深く感謝しております。

さて、当会ホームページや日本社会福祉士会ニュースレターで大会にかける意気込みをお伝えして参りました。改めて青森県の会員の皆様に大会への意気込みをお伝えする機会を頂き、ありがたく思っています。

大会テーマを決める際には、広く会員に募集し、それをもとに各支部長や実行委員等で議論を重ねました。テーマに込めた思いについて改めて皆様と共有したく、晴山局長にまとめて頂いたものを紹介致します。開催要項もすでに届いていることと思いますが、日本社会福祉士会山下康会長のご挨拶に続き、納谷と佐々木啓太全国大会実行委員長(中南

支部)も大会にかける熱い思いを書かせて頂きました。そちらも是非ご覧下さい。

青森県社会福祉士会の最大の魅力は、会員一人ひとりのホスピタリティだと考えています。全国大会という多様な社会福祉士が集う「場」の中で、理不尽な自然と共存しながら様々な社会課題と取り組む私たちの福祉にかけるじゃわめぐ思いを遺憾なく発揮し、青森らしい大会運営をすることこそが、全国から集う社会福祉士との強いつながりになると確信しています。「わ」と「な」のつながりを青森から全国に広げ、すべての人と共に生きる未来の実現が始まる大会にしていきましょう!!

ところで・・・参加の申し込みはお済みですか。納谷は、4番目でした(*´艸`)



▲講師の竹浪様を表敬訪問

▲青森市長を表敬訪問

▲宮下知事を表敬訪問し開催を報告!

≪ 大会テーマ ≫

「共に生きる社会」をつくる社会福祉士 ～じゃわめぐ未来へ「わ」と「な」をつなぐ～

メインテーマは、人口減少に立ち向かい、地域共生社会の実現に向けて、社会福祉士が引き続き取り組む姿勢を表現しました。サブテーマの「じゃわめぐ」は、津軽弁で楽しくてワクワクドキドキする様子を意味します。ねぶた祭がいよいよ始まる直前の心持ちが、まさしくこれです。「わ(私)」「な(汝)」も津軽弁です。「わ」の一文字に和、輪、我など様々な漢字(思い)を込めました。

ねぶたの曳手、跳人(はねと)、囃子方などの役割を持ち、熱く楽しい祭りを実現するように、すべての人々が役割を持ち、支えあいながら、明るく暮らす近未来の地域共生社会を、現代の「わ(私)」と「な(あなた)」(会員同士、クライアントとソーシャルワーカー、様々な社会資源と社会福祉士等)の多様なつながりの力で、作っていき願いを込めました。



▲全国大会 島根会場では盛大にPR活動を実施(7/5,6)

東青支部研修会開催

～ 現場のリアルから考える危機対応 ～

令和8年3月17日(火)に令和7年度最後となる東青支部会を開催しました。

講師に現役の消防士をお招きし、「火災の予防、119通報、避難訓練に関する講話」「BCPに関するディスカッション」の内容で研修を実施しました。

119通報の模擬を行ったり、実践的な消防士の話を聴いたりとても有意義な研修となりました。

BCP(事業継続計画)について一つ学んだことがあります。「それはまず自分の身をしっかりと守る。そして、それは災害や感染症の発生後、なるべく早い段階から行う」ということです。

東青支部では、来年度も会員や地域のため、面白い研修を企画していきますので楽しみに！



みんなで乗り切った3年間

～ 新たな社会福祉士としてのリスタート ～

令和8年2月15日、生涯基礎研修Ⅲの集合研修が終了し、19名が3年間の基礎研修課程を無事に修了しました。

仕事と両立しながらの研修参加は大変なことも多く、特に基礎研修Ⅱ以降はレポートの課題も増え、くじけそうになったこともあったのではないのでしょうか。

それでも最後まで歩みを止めずに3年間続け無事に修了できたのは、ともに学び、支え合った仲間が存在があったからかもしれません。

参加者からは、「みんなそれぞれ職種は違うものの県内(時には県を越えて)の社会福祉士同士の交流の場となり、ソーシャルワークについて学び合う時間がとても楽しかった。」「みんな(仲間)がいたからレポート課題も乗り越えられた。」「とても仲が良かったので基礎研修Ⅲが終わってしまい寂しい。」等の感想も聴かれました。

この3年間で得た知識や経験、そして、仲間との出会いを大切に、それぞれの現場で新たな一歩を踏み出していけることと思います。今後も社会福祉士を目指した初心を忘れず、様々なクライアントの自己決定を大切に邁進して欲しいと感じます。皆様のご活躍を心より応援しています。



information

★会員数情報 令和8年2月28日現在

*会員数726名 *入会率26.86%(全国1位)
「人口10万人当たり会員数62.32人(全国6位)」

★寄附金情報

令和6年4月～令和8年2月28日現在
*131件 *2,106,300円



たくさんのご寄付を頂き、誠にありがとうございました。今回は事務手続きの都合により、令和6年度分および令和7年度分の2年分をあわせてお納めいただくこととなり、ご負担をおかけし誠に申し訳ございませんでした。

★変更届提出のお願い

氏名・住所・勤務先・所属都道府県社会福祉士会等に変更が生じましたら会員情報を変更しますので事務局へ変更届を提出願います。本会ホームページの会員専用ページ上の事務局「入退会届」をダウンロードして記入し日本社会福祉士会または、本会事務局までFAXをお願いします。

★2026年度年会費について

2026年度年会費引落しは4月13日(月)です。事前に口座残高のご確認をお願いします。「年会費13,000円」と「引落手数料121円(税込)」が合算で引落しとなります。

※ご不明点等ございましたら事務局までお問い合わせください。

新入会員のご紹介(令和7年4月～令和8年2月末現在) 入会39名

～ 氏名掲載に同意いただいた方のみ掲載しております。～

中南支部	東青支部	三八支部	西北五支部
三上 利江子	豊岡 卓人	中野渡 奉文	鳴海 亜希子
吹田 憲治	渡邊 清子	境谷 環	三橋 文子
小林 未紀	福士 英寿	高橋 彰太	
山田 宏介	其田 利嘉子	橋本 亮一	
加賀谷 聡	飯塚 裕美		
齋藤 有伽	土岐 拓司		
千葉 昌平	櫻田 仁志	上十三支部	下北支部
金枝 純子	木立 多美子	杉山 美里	西本 直樹
工藤 桜佳	盛 綾乃	高村 弥生	信原 睦
阿保 沙都子	心より歓迎します。	目時 玲子	
笠井 幸隆	社会福祉士として	山本 智子	
飯村 健治	一緒に歩みましょう!		

【編集後記】

暖かな春の訪れから一転しての「なごり雪」。ふと脳裏に浮かんだ「なごり雪」の歌詞がこの季節の心情と重なる。3月は別れや新たな出逢いが交差する季節。社会福祉士として支援に携わる中で大切にしたいのは「その人らしさ」に寄り添う姿勢。この積み重ねが信頼を生み自己の成長に結びつくと再認識。

7月4日(土)・5日(日)は全国大会の青森開催。全国から集まる社会福祉士と実践や想いを共有し更なる社会福祉士としての成長へ期待。季節の移ろいととも、それぞれの新たな一歩が実り多きものとなることを願って、、、(T・F)

発行日:令和8年3月31日 発行人:納谷 むつみ
編集:青森県社会福祉士会(晴山順一・柴崎陽介・工藤修子・藤田智哉)
公益社団法人 青森県社会福祉士会
〒030-0822 青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ5階
TEL:017-723-2560 FAX:017-752-6877
http://www.aacsw.or.jp E-mail:aacsw@nifty.com

